

令和元年度 学校経営の改革方針

○ 学校教育目標「かしこく 心豊かに たくましく生きる新町の子」



1 めざす学校像

【めざす学校の姿】

- 「一人ひとりの子どもが輝き、確かな学びのある学校」
- 「つながりを大切にする信頼される学校」

【めざす子どもの姿】

- 「しん」心身ともに健康で心豊かな子ども
- 「ま」学び合い進んで学ぶ子ども
- 「ち」力いっぱいチャレンジする子ども

【めざす教師の姿】

- 「しん」信頼され尊敬される教師
- 「ま」学び合い学び続ける教師
- 「ち」チームワーク、ネットワーク、フットワークを活かす教師

2 現状と課題

- ◆授業の中で子ども同士が「伝え合う」場面を大切にされた校内研修の取組を深めてきた成果として、学校行事において子どもたちの表現力の向上が見られるようになってきた。また、全国学力・学習状況調査の結果などからも書くことに抵抗のない子どもが増えつつある。今後も子どもの状況を把握し学力向上に向けた取組を進める。
- ◆基本的な生活習慣の定着に向けて保護者と連携して取組を進めてきた。幼少期から、スマホを使って動画を見たり、ゲームに熱中したりしている子どもが年々増えつつあるため、今後も保護者との連携を密にした取組を進める。
- ◆特別な支援が必要と思われる子どもが各学級に一定数在籍しており、子ども一人ひとりの状況に応じた支援と教師の授業力の向上の取組を進める。

3 重点目標と行動計画

(1) 確かな学力の定着

- ① 基礎学力の定着と学力の向上
 - ・少人数学級編制、ティームティーチングの実施
 - ・全国学力・学習状況調査やみえスタディチェック等を活用した指導方法の工夫改善
 - ・「家庭学習の手引き」を活用した自主学习、土日の家庭学習の充実
- ② 授業づくりの工夫
 - ・「ペア学習・グループ学習」を効果的に活用し、子ども同士が互いに学び合う授業の展開
 - ・学習課題や学習形態を工夫し、生活経験等を活かした課題解決型の授業の展開
 - ・各教科において、「話す力」「聴く力」を高めた伝え合う授業の展開
 - ・「わかった」「できた」が実感できる授業の展開
- ③ 読書活動の充実
 - ・読書・学習・情報センターとしての図書館の活用、図書館まつり等を通じた読書意欲の向上
 - ・図書館司書、図書館ボランティアと連携した活動を充実

(2) 豊かな人間性の育成

- ① 道徳教育、人権教育の充実
 - ・道徳教育の全体計画および各学年の年間指導計画の改善と道徳教育の推進
 - ・自他の人権を尊重し人権問題を解決する行動力を育てる人権教育の推進
 - ・多様な生き方を認め合い、仲間とともに高まり合う「なかまづくり」の推進
- ② 教育相談、特別支援教育の充実
 - ・報告・連絡・相談を徹底し、不登校、いじめ、虐待、発達上の課題等への迅速な対応
 - ・日常の観察や教育相談、いじめ調査による児童の状況把握と早期対応
 - ・スクールカウンセラーや関係機関等と連携した迅速で組織的な取り組みの推進
- ③ 児童が主体的に取り組む活動の推進
 - ・児童会活動やあいさつや清掃活動、心地よい学校づくりに主体的に参画する生活態度の育成

(3) 健康な心と体の育成

- ① 健康・食教育の充実と体づくり活動の推進
 - ・「運動が楽しい」と思える体育の授業の推進、学校生活の中で運動の習慣化
 - ・養護教諭、栄養教諭、担任が連携した保健指導、食育の充実
- ② 安全教育、防災教育の充実
 - ・日常生活に生きる安全教育、防災教育の実施
 - ・月一度の安全点検の実施、危機を想定した日常的な安全管理、事故防止の推進

(4) 信頼される学校づくり

- ① 保護者・地域との連携・協働
 - ・学校だよりや学校HP、学年通信、学級通信等による家庭との連携の強化、信頼関係の構築
 - ・図書館ボランティアや学習支援ボランティア等を活用したきめ細かな教育活動の展開
 - ・地域内の各団体との交流や連携、情報発信、情報収集
- ② 継続的な学校改善
 - ・学校自己評価、学校関係者評価の実施、評価をふまえた学校改革の推進
 - ・小中一貫教育を通じた校種間の段差の解消
 - ・教職員育成支援のための人事評価制度等を活用した学校改革の推進

(5) 教職員の資質向上と健康管理

- ・教員相互に学び合い、授業公開による授業力の向上
- ・ワークライフバランスを大切にされた取組として毎週金曜日を定時退校日
- ・時間外労働時間を前年度比月4時間減、及び時間外80時間超の人数を前年度比2割削減の取組
- ・放課後に開催される会議は17時までに終了し、全体の会議数の20%を超えない取組
- ・一人あたり休暇取得日数を前年度比3日多く取得